

新編武藏國風土記稿

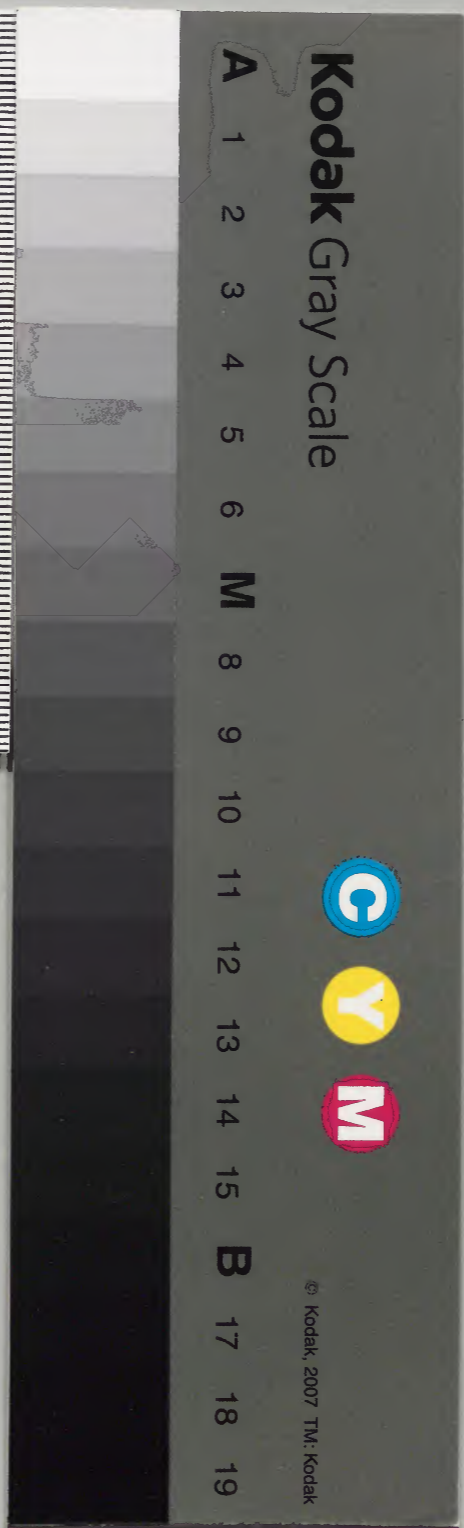
多磨郡

卷之百二十

和書門		
一六五〇	二二三	二五三
號	函	冊

內閣文庫		
一六五〇	二五五	七三九
號	冊	函

內閣文庫		
番號	和	16510
冊數	255 (120)	
函號	173	210



新編武藏風土記卷之二十

多磨郡之二十二

石田村
新井村
新井村

石田村

新井村

新井村

新井村

新井村



新編武藏風土記卷之二十

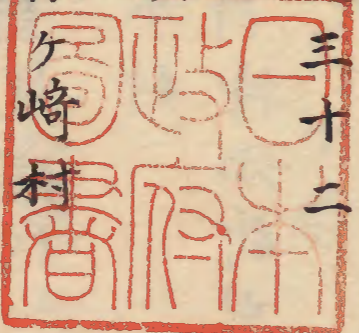
新編武藏風土記卷之一百二十目錄

淺草文庫

多磨郡之

三十二

口領



箱根

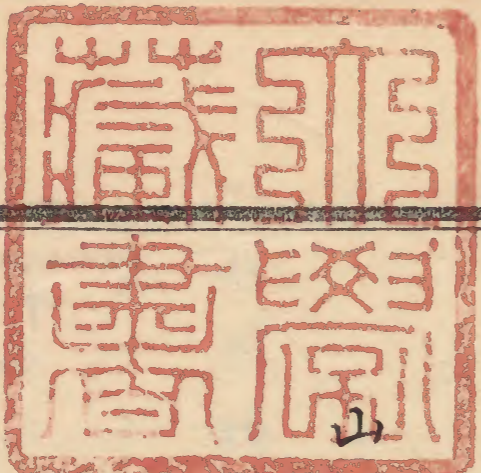
石畑村

附持添新田

殿ヶ谷村

岸村

横田村



三ツ木村

中藤村

砂川村

芋久保村

奈良橋村

枝郷 藏鋪村

高木村

附持添新田

小川村

後ヶ谷村

新編武藏風土記卷之一百二十

多磨郡之三十二

山口領

山口領ハ郡ノ北端ニアリテ隣郡入間ニ跨レリ。四境ヲイハレ。凡東ハ野方領ニ堺ニ。南ハ梓島領ニ接シ。西ハ三田領ニテ。北方ハ入間郡ニ續ケリ。郡内コノ領ニ属スル處ノ村數ハスヘテ二十三村。コノ領名ハ。イツレノ頃ヨリ唱ハジメシヤ。詳テラス。梅松論ニ。元弘三年。五月十四日。高時ノ弟九近將監入道

惠性ヲ大将トシテ。武藏國ニ發向ス。同日山口ノ庄
ニ陣ヲトルトアレハ。元弘ノ頃。ステニ唱ヘシ。知
ヘシ。小田原家人所領彼帳ニハ。四十貫支山口内。藤
澤分。山口平六トアリ。藤澤分ト云ハ。則入間郡ニ属
セシ。山口領藤澤村ナルヘシ。且ソノ所ノ内ニ。山口
堀之内村ト云アリ。ソコニハ山口平内左衛門カ居
城セシ所ナリトテ。今モ其迹ノコレリ。此人ハイツ
レノ頃ノ人ナリヤ。彼山口平六モソノ一属ナルヘ
シ。コノ邊山口トイヘル地ハナク。タ、コノ處ヲノ
ミイヒシナト。具村土人ノ口碑ニ存シタレハ。コノ

領名ノ起リシハ當郡内ニハアヲテ。カノ入間郡ニ
属セル山口堀ノ内村ナランカ。猶詳ナルヲハソコ
ニ辨シタレハ。アハセ見ルヘシ。

箱根ヶ崎村

箱根ヶ崎村ハ郡ノ北方ニアリ。村山郷ニ属シテ。庄
名ハ唱ヲ失ヘリ。江戸日本橋ヨリ行程十一里。民戸
百二十軒。村ノ四境。東ハ石畑村。南ハ羽村。五ノ神村
ニ境ヒ。西ハ師岡。長谷部二村ノ新田。及入間郡栗原
新田ニ接シ。北モ入間郡ノ内富士山。高根ノ二村ニ
交レリ。其内高根村ノ邊モ狭山ヨコタハリ。境畧ハ
其山上ニアリ。東西九十三丁。南北十五丁許。土性大
抵ハ野土ナレトモ。莫土ノ所モアリ。水田ハ總ニ狭

山ノ溪間ニ闢ケルノミニテ。ソレニ比スレハ陸田
ハヤ、多シ。村内此山ノ南方ニハ。村民等ノ持トナ
セル山林アリ。往来ハ又狭山ノ端ナル少シク高キ
峯ヲコエテ。入間郡富士山村へ至ル一條ノ道ヲ通
セリ。コレハ日光街道及川越。又ハ秩父。高麗邊へノ
往還トセリ。左右ニ民戸並へリ。ゴノ外ニ西北ノ方
ニ。秩父。高麗ノ兩郡へ至ル街道モアリ。後ニノセタ
ル狭山及ヒ宮ノ池ト云フハ。古歌ニモ多ク見エタ
レト。村名ノ「ハイツノ頃ヨリ始リシト云フ」ヲ詳
ニセス。土人ノ話ニ地形ヲ見レハ。宮ノ池ハ狭山ノ

根ナレハ箱根ト云ヒ。且狭山ノ裾ハ彼池ノ方へハ
リイデ、其サニ崎トモ云へケレハ。箱根ヶ崎ノ名
ヲオヘリトイへリ。コレノミナラス外ニヨリ處モ
アリヤ。詳ニセス。サハアレ天正十年。甲州武田家没
落ノ時。武州箱根ヶ崎ニ於テ。初鹿野丹後守死セシ
コト。其家ノ譜ニノセタレハ。コレヨリ旧ク唱へシ
了知へシ。其後御料所トナリシ年曆ハ傳へス。夫ヨ
リ引續キ。今ハ小野田三郎右衛門ノ支配所ナリ。

高札場 村ノ中程。里正次郎右衛門カ前ニ建リ。

小名

宿 村ノ中橋ヨリ南ヲ云。

新宿 コレハ橋ヨリ北ヲ云。

山川

狭山 西北ノ境ニアリ。山ノ高サ凡十間餘。コ、ヨ
リ東方山口領野口。高木ノ邊ニテ續ケリ。舊ク世
ニキコエシ名所ニテ。モトヨリ古歌モ多ケレト。
河内國ニモコノ同名ノ所ニエタリ。詳ナルコト

ハ總説ノ條下ヲ合セ見ルヘシ。

管ノ池 村ノ西ニ民居アリ。ツレヨリ一丁餘ヲ隔
テ、池ナリ。古ハ四方十五丁ナリシカ。イツシカ
埋レテ芝地トナリ。今ハ東西十間許。南北八間許。
狭山ノ麓ニアレハ。狭山ノ池トモイヘリ。コレモ
旧キ世ヨリノ名所ニテ。古歌ニモ多クコ、ノ丁
ヲ讀タリ。其一ニヲ左ニノス。

夫木集仲實朝臣ノ歌

春深ミサヤマノ池ノ子又ナハノ苦シケモノ
ク鳴カハツカナ 同書ト部兼昌ノ歌ニ

アヤメ草サヤマカ池ノ十カキ根ヲ是モミク
リノナラヒニソヒク 同書隆祐ノ歌ニ
ミクリクニサヤマカ池ノ便ニシカケハヒカ
レヌ青柳ノ系 六帖 歌ニ
武藏ナルサヤマノ池ノミクリナハ引ハタエ
スヤ我ト絶ヌル 同書秀能ノ歌ニ
跡分シ狭山ハ雪ニ埋レテ池ノミクリハクル
人モナシ 同書光俊ノ歌ニ
狭山ナル池ノミクリハ根モミ子トウチハヘ
人ノグルソマタル 堯惠北國紀行ニ武

藏野ヲ分侍ルニ。野徑ノホトリ名ニ聞エシ狭
山アリ。朝ノ霜ヲフミ分テユクニ。ワヅカナル
山ノ裾ニ、カタチバカリナル池アリ。
氷井シ汀ノカレ野フミ分テ行ハサヤマカ池
ノアサ風
今此池ノ東ニ分水ノ道アリ。引口幅九尺許モ
アルヘシ。コヽヨリ石畑。殿ヶ谷。岸三ツ木等數
村ノ田間一里餘ヲ流レ。砂川村ノ北裏ニテ多
磨川上水ニ合セリ。則多磨川上水ノ助水トナ
レリ。此流。村ノ中程ニシテ。僅ナル橋ヲ架セリ。



堀 土人殘堀ト云。ソノ名義ヲタツヌルニ。往昔管ノ池ノ邊ニテ。其アタリ土民ノ蛇ヲ殺セシコトアリ。其血コノ堀ヲ流レシユヘ。蛇堀ト唱ヘシヲ。今ハ訛テ殘堀ト唱フルヨシライヘリ。カタク虚誕ノ事蹟ヲモ附會シタレト。土人ノ言。モトヨリ信トスルニ足サレハモラセリ。

神社

三社權現社 除地一段 御林山ノ頂ニアリ。村内ノ鎮守ナリ。本社六尺ニ四尺。南向。上屋三間ニ四

間半。祭神ハ木花咲耶姬命。大山祇命。吾田津姬命ノ三神ナリ。殿ヶ谷村。阿津佐美天神ノ神主。宮崎和泉ノ持。

山王社 除地八畝 西方ノ山上ニアリ。本社二尺ニ三

尺。東向。九尺四方ノ覆屋ヲナセリ。村内修驗延壽院ノ持。

稻荷社 除地五畝 村ノ西畑ノ間ニアリ。上屋六尺四

方。ワツカナル祠ヲ。東向ニ置リ。村持。

浅間社 除地二畝 北ノ方山上ニアリ。本社。南向二尺

五寸四方。上屋二間四方。神主ハ。入間郡高根村栗

原丹波ト云。

受宥社

除地三畝一歩

村内圓福寺

御朱印地ノ内ニア

リ。本社二尺四方。南向上屋三尺四方。村持。

辨天社

管池ノ内へ築出セシ所ニアリ。僅ナル祠

ニテ東向。社ノ廻リニハ松杉雜木ムラタテリ。以

上ノ社。イツレノ比ヨリ鎮坐セシト云、下ハ傳ヘス。

八幡社

除地五間四方

街道ノ西ノ傍二十間餘ヲ距テア

リ。本社四尺四方。上屋二間四方。東白。加藤丹後守

ノ靈ヲ祭ルト云。按ルニ丹後守ヲ村名ノ條ニハ

初鹿野氏ト記シ。後ノ圓福寺。及ヒエ、ニハ又加

藤ト書セリ。初鹿野氏ハ加藤氏ノ同流ナレハ。コ

ノ丹後守ハ同人ナルコト。論ナカルヘケレド。加

藤。初鹿野ヲ並ヒ用ヒシ。エエニハシラス。此家ノ

子孫ハ旧家ニテ。荏原郡上目黒村ニアレハ。ソコ

ノ條并ヒミルヘシ。

寺院

圓福寺

除地三百坪

北小山ト号ス。臨濟宗。郡内柴崎村

普濟寺ノ末。御朱印寺額十一石餘。天正元年ノ草

創ニテ。開山梅室ハ。同ク十五年十一月廿八日。示

寂セリト。當寺ニ甲陽ノ臣。加藤丹後守景忠。并ニ
其人ノ室。及ヒ息次郎左衛門尉信景ノ法謚ヲ書
シ。裏ニ天正十年四月十一日。丹後守内室加藤丹
波守景忠。次郎左衛門尉信景ノ教十字ヲ書セル
位牌アリ。則コレヲノ人。天正十年四月十二日。コ
コニテ自害セルヨシ。墳墓モ残レリ。本堂八間半
ニ七間。本尊ハ藥師ノ坐像。一尺五寸許。厨子入ヲ
安セリ。門ヲ入テ左ノ方。本堂ノ前ニ鐘樓アリ。新
鑄ノ鐘ヲ掛ケタリ。モトヨリ銘ハ考證トスルニ
由ナケレハノセズ。表門ノ前ニ石階アリ。幅ハワ

ツカニ二間許。當寺元ハ郡内石畑村ニアリシヨ
シ。今石畑村ニ圓福寺前トイヘル耕地ノ字。及其
邊ワツカナル堀ニ架セル橋ハ。當寺ノ山号ヲ呼
ヒテ北小橋ト称セリ。カリ當寺ノ山号。寺号ニテ
ヲ字トナシタレハ。イカサニ元ハソコニアリシ
ナルヘシ。サハアレコ、ヘ移リシ年歴ハ傳ヘズ。

寺寶

甲冑 太刀

共ニ加藤丹後守景忠ノ持タリシモノニテ。太

刀ハ鋸割ト称ロルヨシ。中心ニ文字見ユレド。
定カニハヨミ得ス。此外ニモ甲冑弓箭長カ太
カアリ。

塔頭

德寶院 門ヲ入テ右ノ方。

阿弥陀堂

除地
五間四間半 圓福寺門前字堂前ニアリ。二間
半ニ三間。北向。本尊立像一尺。厨子ニ納メリ。

右墳

塚 氏家ヨリ南二十間許ヲハナレ。田圃ノ間芝地
六間ニ五間許ノ所ナリ。ソコニ五輪ノ毀レタル
三基アリ。コレ丹後守及妻子ノ碑ナリトイヘ凡。
文字ハ剥落シタレハ讀カタシ。又塚上ニ獨窓院
明天清月居士。梅林院清香妙通大姊ト云テ正面
ニユリ。左ニ天正三乙亥十二月十二日。兩體同。加
藤氏法躰トユリ。右ニ施主師井四郎右衛門トユ
リタル。長サ三尺。幅九尺許ノ碑アリ。又塚ノ下右

ノ傍ニ。正面ニハ安宗徹心居士之塔。左ハ于時天
正十壬午四月十二日。於此所義死。右ニハ加藤丹
後守家臣。俗名溝口彦右衛門尉行輝ト云リタル
高サハ三尺餘。幅六寸許ノ碑アリ。コノ外塚上ニ。
加藤父母三名ノ法葬ヲエリタル碑モアリ。コノ
碑ヲ立テシユエシヲ尋ルニ。近キ頃コノ右墳
ヲ。十二ト十ク信スルモノアリテ。多ク參詣セリ。
其頃郡内上ノ原村里正最次郎トイヘルモノ。加
藤氏ノ子孫ナルヨシ。具足太刀等ヲ持來リテ人
ニモ見セシニ。其後彼ガコノ碑ヲコノへ建シヨ

シ。コノ時八幡ノ宮ヲ建テ、彼加藤氏ノ靈ヲ祭
レリ。此地元ハ百姓ノ持ナリシニ。コノ時圓福寺
へ寄附口リト云。彼八幡社ノコノハ神社ノ條ニ出
セリ。

塚 加藤某ノ古墳ヨリ。北二十間餘ヲ隔テ、アリ。
コノ塚ハ丹後守ガ妻ヲ埋メシ所ナルヨシ。姫塚
ト号セリ。

舊家

百姓次郎右衛門 村山氏ニテ旧クヨリ此所ノ里

正ナリ。先祖村山土佐守。北條波落ノトキ家絶シヨリ。子孫コ、ニ居レルヨシヲイヘト。記録モナケレハタシカナルヲラシラス。但郡中殿ヶ谷村ハ古ヘ村山ト唱テ。村山土佐守ノ領セシ所ナリト云。又ソノ村ノ福正寺ノ過去帳ニ。天曉雲山。天正年中八月廿一日。村山土佐守トアリ。猶殿ヶ谷村ノ條并セミルヘシ。

百姓與右衛門 コレモ氏ハ村山ニテ。則村山土佐守カ家老。村山雅樂助ノ子孫ナルヨシハイヘトモ。サシテシルシトスヘキコトハナシ。

石畑村 附 持添新田

石畑村ハ郡ノ北ニアリ。村山郷ト号ス。田安殿ノ領地ナリ。江戸日本橋ヨリ十一里ニアレリ。民家四十七軒。村ノ四境。東ハ殿ヶ谷村ニトナリ。南ハ當村ノ新田ニシテ。西ハ箱根ヶ崎村ニツ、キ。北ハ入間郡高根村ニ接シテ。狭山ノ峰ヲ肩ヒ。東西凡八町。南北二十二丁餘土性真土ニテ野土交レリ。畑多ク田少シ。北ノ方ニ山林及秣場アリ。此邊松茸初茸ナト多少生スト云。檢地ハ寛文八年。兩宮勦兵衛ウケタ

二ハリ同九年三月十日。岡上次郎兵衛。近山五郎左衛門等檢セリ。又當村ノ南方ニツ、キテ持添新田アリ。陸田ノミエテ元文元年。大岡越前守檢地シテ貢税ヲ定ム。今ハ小野田三郎右衛門カ支配所ナリ。村ノ廣リ六丁四方形ナリ。東ハ殿ヶ谷村新田ニツツキ。南ヨリ西ハ福生村ヲメクナシ。北ハ本村ナリ。又延享五年。神尾若狹守。逸見出羽守カ檢セシ所アリ。コ、モ小野田三郎右衛門カ支配所ニテ。字直竹山ト云。本村ヨリ東北ノ方ニテ入間郡ノ堺ナリ。

高札場 村ノ中程ニアリ。

小名

砂組 村ノ東殿ヶ谷村界ヲイフ。

丸ヶ谷戸 砂組ノ次ナリ。

棒ヶ谷戸 村ノ中程ナリ。

奥組 村ノ北寄。或ハ沖ノ字ヲ用ユ。

中組 村ノ西ナリ。

表組 村ノ南ナリ。

水利

多磨川上水ノ助水。西ノ方隣村。箱根ヶ崎ノ池水ノ流レナリ。村内ニ入テ八丁許。流末ハ東ノ方殿ヶ谷村へ達ス。

神社

御嶽社

除地一段
松林山二段

小名中組ニアリ。是ハ元文

二年十一月。御代官上坂安左衛門支配セシ時社領ニ附セテリ。本社二尺。覆屋九尺。二間。神躰白幣。

村ノ鎮守ニテ。村持ナリ。

神明社

除地六畝
二十歩

小名棒ヶ谷戸ニアリ。小祠。社

木ニ槻ノ大株アリ。

三島社

社地見捨地
二百坪許

社ハ廢セリ。二祠トモニ隣

村阿豆佐美ノ神職宮崎和泉カ持ナリ。

寺院

正眼寺

除地五段八畝
二十七歩

小名砂組ニアリ。金剛山下

號ス。禪宗臨濟派。當郡柴崎村普濟寺末。本尊木ノ坐像一尺許。客殿六間半ニ三間半。関山詳ナラス。

此寺無住十九丁多キ工大抵廢失セリ。

弥陀堂

見捨地六
十坪許

小名丸ヶ谷戸ニアリ。堂二間

二三間。本尊木ノ立像。長三尺ハカリ十九ヲ安ス。
村ノ持。

舊跡

圓福寺跡

小名丸ヶ谷戸ニアリ。今ハ畠地トナリ

字ヲ圓福寺ト唱フ。又其地ノ終ナル溝渠ノ土橋

ヲ北古橋ト号ス。コレモ圓福寺ノ山号ナル工へ。

旧地ナルコトニラル。圓福寺ヲ箱根ヶ崎村へ移

シタル。年代来由ハ詳ナラス。

殿ヶ谷村

殿ヶ谷村ハ石畑村ニツ、キテ村山郷ニ属ス。田安殿ノ領地ナリ。江戸日本橋ヨリ行程十里餘。村名ノ起リヲタツヌルニ。此邊岸村。石畑村及當村ヲ古ハ。村山ト唱ヘタルヨシ。ヲノ中當村ハ。領主村山土佐守ノ居住セシ所ナレハカク唱フト。村山ハ武藏七黨ノ内ニテ當國ノ旧家ナリ。子孫小田原北條家ノ幕下タリシカ。天正年中。北條家滅亡ノ時。此家モ共ニ絶タリト云。村内福正寺ニ位牌アリ。又箱根ヶ

崎村百姓次郎右衛門ハ。土佐守カ子孫ナルヨシ云
傳フ。此ホトリ村山トイフ郷名ノアルモ。此人居住
セシヨリ起リシナリト。尚郷名ノ條下ヲ合セ見ル
ヘシ。民家七十八軒。村ノ廣サハ。東西ワツガ六丁ニ
シテ。南北ヘハ二十五丁アリ。東ハ岸村ニ隣リ。西ハ
石畑村ニ續キ。北モ亦ツノ村ニ接シ。南ハ新田ナリ。
畑多ク田少シ。天水場ナレハシバ、旱損ノ患アリ。
土性真土交レリ。寛文八年。雨宮勘兵衛。同九年三月。
岡上次郎兵衛。近山五左衛門檢地ス。

高札場村ノ中程ニアリ。

小名

沖組 村ノ中央何豆佐美天神社ノ前ヲ
云。
表組 前ノ沖組ヨリ少シク東南ニヨレ
リ。
中組 西ノ方ニアリ。
中芝 福正寺ノ下通りヲ云。

神社

阿豆佐美天神社 村ノ中ホド狭山ノ麓ニアリ。神
主宮崎和泉ト云。本社二間四方。拜殿二間ニ五間。
祭神ハ少彦名命ニテ。神躰ハナク画像ヲ掛ク。
御朱印十二石ヲ附ケラル。抑當社ハ式内ノ社。嘗
郡八座ノツノ一ニシテ。往古ヨリ此所ニ鎮坐ス
ト云。サレド舊記ノ微トスヘキトモニエス。又正
シク土人ノ口碑ニノコリタルトモアラカレハ。
ソノタシカナルトモシラス。近村奈良橋村ナト

阿豆佐美ノ里ト稱ス。當所ニ近キ所ナレハカク
唱フト云。又享保年中ノ棟札アリ。其文ノ中ニ。文
明十四年。村山土佐守。同雅樂亮イ助及一族等。土木ノ
費ヲ供シテ。社壇ヲ再修口シテ見ユ。文明中ノ再
修ナレハ古社ナルトシルヘシ。此文外ニトルヘ
キ説モナケレハ。ソノ全文ヲ略シヌ。村山氏ノ下
村ノ條下及福正寺。又箱根ヶ崎等。所々ニイダシ
タレハ合セ見ルヘシ。

寺院

福正寺 金龍山ト号ス。禪宗臨濟派ニテ。紫崎村普
濟寺ノ末ナリ。寺領十石ノ 御朱印ヲ賜フ。本堂
ハ八間半ニ七間半。南向。本尊釋迦ノ坐像。長三尺
餘。開山ヲ普照大光國師ト云。正中元甲子年正月
二十七日。示寂。開基ヲ天照ト云。曆應元寅年正月
廿七日寂ス。普照國師ハ。本寺ノ本山鎌倉建長寺
ノ世代ノ内ナリトイヘハ。是當寺勸請ノ祖ナル
ヘシ。堂中ニ村山土佐守カ位牌アリ。左ニ玉窓妙
全大姉。下ニ樂叟常雅信士。華口妙法信女トアリ。
卒日ヲシルサス。又當寺ノ過去帳ヲミルニ。天曉

雲山。天正年中八月廿一日。村山土佐守事。樂叟常
雅。雅樂助事トアリ。サレト前ニ出レル阿豆佐美
社ノ棟札トハ。年代アハサレハ疑フヘシ。又境内
ニアル觀音堂ハ。天文十五年ノ再興ナレハ。古キ
寺ナルトハ疑ヒナケレド。ソノ詳ナルトヲ傳ヘ
ス。

鐘樓 二間四方。境内ニアリ。

觀音堂 門ヲ入テ正面ニアリ。三間ニ三間半。觀
音ノ像ハ。長一尺五寸餘ノ坐像ニテ運慶ノ作。
脇士不動。毘沙門。各立像ニテ長九寸バカリ。臺

坐ノ裏ニ。謹奉梅室慶香座元再興者也。當寺且
那村山土佐守。同施主雲峰俊慶座元。殊者為二
親佛果。次現世安穩後生善處也。云々。干時天文
十五丁亥年。霜月廿八日トアリ。コレヲ以テニ
レハ。當寺ノ開ケシハ古キナナルヘシ。

彌陀堂跡

除地ニ
畝三畝

村民十弟右衛門カ持ナリ。十

弟右衛門カ先祖ハ。天神ノ神職宮崎和泉カ家ヨ
リワカレシモノナリト云。本尊ハ画像ナリ。モト
本家和泉カ所持ナリシヲ。イツノ比カユ、ヘカ
ナメタリト云。

岸村

岸村ハ郡ノ北方ニアリ。江戸日本橋ヨリ行程凡十
里。村山郷ニ係リ。庄名ハ唱ヲ失ヘリ。東ハ三ツ木村
ニ隣リ。西ハ殿ヶ谷村ニ接シ。南モ具村ノ新田ニ續
キ。北ハ石畑村傍ト。其間殿ヶ谷村ニ交リシ所モア
リ。東西總ニ八丁許。南北廿五六丁。地形平カニシテ
北方ニハ山ヲ受タリ。民戸七十二畑ハ其山ノ麓ニ
畝住セリ。土性家居ノ所ハ真土ナレト。畑地ハ野土
ニテ殊ニ粗薄ナレハ。風ノ夕メニ吹ケラセリ。村民

コレヲ患ヒ。陸田ニハ廻リニ宇津木ヲ植。風ヲ防ク
便リヲナス。用水ハワツカニ土地ノ清水ヲ夕ノ
ミテ耕作ヲサセハ。ヤ、モスレハ旱損ノ患アリ。サ
レハ此邊水田ハ少ク。陸田ノ方多シ。村南ニ一條ノ
街道ヲ通ロリ。箱根ヶ崎村ヨリ江戸ヘノ往来ナリ。
コ、モ旧キ丁ハ傳ヘサレトモ。村内善聖寺ノ開山
ハ。寛正年中ニ寂セシトイヘハ。ソレヨリ早ク草創
アリシ寺院ナランニハ。コノ地モ旧クヨリ闢ケシ
ナラン。サハアレト現ニ正保年間ノ記録ニハ。コノ
村名ヲノセサレハ。正シク一村トナリシハ近キ丁

ニテ。彼寺ヲ創立セシ頃ハ。イマタ他ノ村ニ属セシ
地ナルヘシ。寛文八年。雨宮勘兵衛。同ク九年ニハ。岡
上治郎兵衛。近山五左衛門延寶五年。設樂孫兵衛。今
井九右衛門。寶曆十一年。伊奈半左衛門。明和三年。伊
奈備前守等。土地ノ貢税ヲ檢定セシコトハ。村中ノ
記録ニノコレリ。其内武藏野新田アリ。コ、ヲハ享
保年中。大岡越前守忠相檢地セリ。イツノ頃ヨリ御
料所トナリシヤ夫モ傳ヘス。御代官ノ遷替モアマ
ル、ヒナルヘシ。今ハ小野田三郎右衛門支配所ナ
リ。

高札場 字山際ニアリ。

山川

蛇堀川 村ノ南ヲ流ル。川幅八九尺ナリ。

神社

愛宕社

除地

村ノ西ニアリ。僅ナル祠ナリ。

牛頭天王社

北方ノ山上ニアリ。コレモ僅ナル

祠ナリ。

寺院

善聖寺

除地二段 二畝廿六歩

小名山根ニアリ。岸清山ト

号ス。臨濟宗柴崎村普濟寺ノ末。開山惠三。寛正元

年。八月廿五日。寂口リ。本堂四間半ニ八間半。南向。

本尊弥陀。木ノ坐像。長二尺許。行基ノ作。

十王堂 村ノ西ニアリ。二間四方。十五ノ像。共二一

尺許。

觀音堂 村ノ東ニアリ。三間四方。正觀音。木ノ立像。

長三寸許。コレモ行基ノ作ナリ。善聖寺ノ持。

三光院 除地一段 修驗ナリ。入間郡金子郷寺竹
村。龍藏院ノ支配ヲウケリト云。五

横田村

横田村ハ郡ノ北ニアリ。村山郷ニテ庄名ハ傳ヘラ
失ヘリ。江戸日本橋ヨリノ行程十里。村ノ四境大抵
中藤村ニ接界ヲナシタレド。其間西方ハワツカニ
三ツ木村ニ係レリ。東西四丁許。南北ハ七八丁。陸田
ハ多ク。水田ハ少ク。村内地形平カニ。北方ニハ上リ
一二丁ノ山アリ。ソコノ山間ヨリ涌出シテ。中藤村
ニ入レル一條ノ流アリ。サレト水利不便ナレハ。田
間ニ引用ル丁能ハス。用水ハワツカニ村内ノ清水

ヲ用レト。ホシケレハ早損ノ患アリ。土性山ノ根
通りハ真土ニテ。畑ノ所ハ野土ナリ。民戸三十三軒。
農業ノイトニハ養蠶ノトヲナセリ。コノ村正保
年中ノモノニハ見エガレハ。近キ頃一村トナリシ
ラシ。寛文十二年。中川八郎右衛門檢地シ。コノ外武
藏野新田ノ方ハ元文元年。大岡越前守忠相檢地セ
シトアリ。御代官ノ遷替。寛文ノ頃ハ。中川八郎右衛
門。岡上次郎兵衛。近山五左衛門等支配セシヨシ。延
寶年中ニ至リテハ。設樂孫兵衛。今井九右衛門元禄
ノ頃ハ。西市市郎兵衛等ニテ。今ハ小野田三郎右衛

門ノ御代官所トナレリ。

高札場 村ノ中程ニアリ。

小名

金山 南方ヲ云。

入 北ノ方ナリ。

山崎 北ノ山合ヲ云。

神社

七所社

一除地

字入ニアリ。上屋二間四方。中ニワ

ツカナル宮ヲ置ク。

愛宕社

同シ邊ニアリ。是モワツカナル祠ナリ。二

社共ニ鎮坐ノ初ヲ詳ニセス。

寺院

吉祥院

除地

村ノ東ニアリ。石階數十級ヲ上リ

テコ、ニ至レリ。横竜山ト号ス。曹洞宗。郡内中藤

村長圓寺ノ末。開山ハ寅貞祖源。元禄十二年。三月

四日。寂セリ。本堂五間ニ五間半。本尊正観音。木ノ

坐像一尺許ヲ安セリ。

三ツ木村

三ツ木村ハ郡ノ北ニアリ。村山郷ニ屬シ庄名ハ傳
ヘス。江戸日本橋ヨリ行程十里。東ハ中藤横田ノ二
村ニ境ヒ。南ハ砂川村ヨリ殿ヶ谷新田ニ及ヒ。西ハ
岸村ニヨリ。北ハ山ノ峯ヲ界トシテ。入間郡勝樂寺
村ニツケリ。東西ハ九十丁。南北ニ十丁許。地形
ハ平ナレト。コ、モ北方ニハ山ヲ帶タリ。ソノアタ
リ九町餘ノ秣場アリ。民戸百六十畑ノ内。三十戸字
蛇堀ニ一區ヲナセリ。冬春ノ内ハ炭ヲ焼アルヒハ

カヒコヲナシ。女子ハ木綿シニナド。オレルヲモテ
業トナセリ。用水ハ村内ワツカニ溪間ヨリ流レ出
ル清水ヲ用タレハ。コ、モ早損ノ患アリ。カク用水
モ乏シケレハ。オノツカラ水田ハ少ク。陸田ハ多シ。
民居ノ方ハ真土ノ處アレトモ。多クハ粗薄ノ土地
ナルヲモテ。南方ノ陸田ニハ四方ノ廻リニ。宇津木ヲ
植ヘテ風除トナセリ。コノ村ハ御料私領入會ニテ
正保ノ頃ハ。御代官今井八郎左衛門忠昌支配シ。其
外大河内兵左衛門知行セルヨシ。モノニ見エタリ。
後御料ハ延宝五年。設樂孫兵衛。今井九右衛門。宝曆

十一年。伊奈半左衛門。明和三年。同備前守。安永四年。
同半左衛門等イツレモ土地ノ御代官ニテ。次第ニ
檢地シ貢税ノ下ヲ定メタリ。其中寛文五年。岡上次
郎兵衛。近山五左衛門等ノ檢地口シハ。コノ所ノ新
田ナリ。夫ヨリ引續キ御料ノ方。今ハ小野田三郎右
衛門支配ヲナシ。其他ハ大河内鑛藏カ知ル所ナリ。

高札場 字宿ノ南ニアリ。

小名

蛇堀 南ノ方ヲ云。青梅道ナリ。

後ヶ谷戸 北ノ方ヲ云。

峯 東ノ方。

小ヶ谷戸 同シ邊ナリ。

宿 西ノ方。

油ヶ谷戸 中央ナリ。

山川

蛇堀川 南ヲ流ル。箱根ヶ崎ノ池ヨリ出。幅六七尺。

残堀トモイヘルトハ箱根ヶ崎村ニ辨セリ。コノ

外ニ悪水堀ニ條アリ。コレモ幅六七尺。

神社

十二所權現社 除地一畝 九畝十歩 字峯ニアリ。村ノ鎮守

ナリ。上屋三間 四方。内ニワツカナル宮ヲ置ク。拜

殿二間ニ三間半。鳥居ヲ立。前ニ石階アリ。祭ル所

ハ天七地五命ナリ。神主新藤隼人。

未社

天王社

疱瘡神社

イツレモワツカナル祠ナリ

神明社 字後ヶ谷戸ニアリ。ワツカナル祠ナリ。

寺院

慈眼寺

除地八段一畝 十三歩

字後ヶ谷ニアリ。白布山

ト称ス。曹洞宗。郡内中藤村長圓寺ノ末。本堂四間

ニ五間半。南向。本尊正観音。木ノ坐像一尺二寸ヲ

安セリ。開山ノ名ハ亀雲トノ三傳ヘテ。コノ寺ヲ

草創セシ年歴。及ソノ僧ノ寂年ヲ傳ヘス。

薬師堂

除地一段 六歩

字宿ニアリ。二間半ニ三間半。

東向。本尊木ノ坐像九寸許。長圓寺ノ持。

弥陀堂

字峯ニアリ。三間ニ三間半。坤ニ向。同寺ノ

持。

弥陀堂

除地一段一畝 十一歩

字蛇堀ニアリ。二間半ニ

六間。本尊ハ木ノ立像一尺二寸。コレモ同寺ノ持。

薬師堂以下ワツカナル庵ナレハ。イツノ造立ト

云下ラシラス。

中藤村

中藤村ハ郡ノ北方ニアリ。村山郷ニ属ス。江戸日本
橋ヨリハ行程九里。村ノ四境。東ノ方ハ芋久保村ニ
接シ。西ハ三ツ木村ニ交ハリ。南ハ砂川村ニ及ヒ。北
ノ方ハ山ノ峯ヲ境トシテ。入間郡勝楽寺村ニツ、
ケリ。東西ハ凡廿五丁。南北三十丁ニ過ス。民家三百
四十九軒。土性ハ真土或ハ野土ナリ。畑多シテ田少
シ。コノ邊狭山ニ續キ。北ノ方ハスヘテ山ナリ。溜池
三ヶ所山ヨリニアレテ。用水トスルニ足ラサレハ。

谷々ヨリ出ル清水ヲ用テ田間ニ沃ケリ。檢地ハ寛
文十二年。中川八郎右衛門。同九年。岡上次郎兵衛。近
山五左衛門。元禄三年。西山六郎兵衛。寶曆十一年。伊
奈半左衛門。明和三年。伊奈備前守等次第ニ檢地セ
リ。コノ村正保ノ頃ハ。前嶋十左衛門。渡邊忠四郎。長
尾庄右衛門未地ノ外ニ。真福寺ニ夕長圓寺ノ領ニ
モ賜ハリシニ。今ハ野間頼母モ知行セリ。
高札場 二ヶ所。一ハ小名萩尾ニアリ。一ハ内中藤
ニアリ。

小名

内中藤 東ノ方ヲ云。

原山 村ノ中央ナリ。北邊ニ前嶋十左衛

門屋敷跡ト云アリ。今屋敷山トモ呼リ。

元禄三年。高入トナレリ。

萩尾 コレモ村ノ中央ナリ。

神明ヶ谷 南ノ方ヲ云。

中村 村ノ坤ノ方ヲ云ヘリ。

馬場 西ニヨリタル所ヲ云フ。

赤堀 乾ノ方ニアリ。

山崎 北ノ方ヲスヘテ云ヘリ。

神社

八幡社

除地七畝廿九歩
横田村ニアリ

小名馬場ニアリ。石階

敷級ヲ登リ鳥居ヲ立ツ。覆屋二間四方内ニ祠ヲ置。

未社

諏訪祠 西ノ方ニヨリテアリ。

山王社

除地二畝
廿四歩

小名山王前ニアリ。上屋二間

二間半内ニ小祠ヲ置。

熊野社

除地五畝
十八歩

小名中村ニアリ。上屋一間半

四方社前ニ鳥居ヲ立。

神明社

除地

本社六間ニ二間。拜殿二間半ニ四

間ヲ一棟ニ造リツケリ。神躰八木ノ立像。八寸

餘リ。例祭年々八月廿一日。廿二日ノ二日ヲ用テ

行ヘリ。村内大行院ノ持ニテ。當村ト横田村ノ鎮

守ナリ。

神明社

除地

小名原山ニアリ。覆屋二間ニ三間。

内ニ小祠ヲ置。境内ニイリ石階十一級ヲ登リテ。

稻荷ノ小祠ヲ西ノ方ニ立。神職ヲ指田攝津ト云。

神明社 除地 小名神明ヶ谷ニアリ。

牛頭天王社 除地 八畝 小名内中藤ニアリ。石階

數十級ヲ登リ。小祠ヲ建。覆屋ニ間ニ三間。前ニ鳥

居ヲ立。神躰ハ木ノ坐像。長八寸ハカリ。大行院ノ

持。

熊野社 除地 同シ邊ニアリ。上屋ニ間四方。社前

ニ鳥居ヲ立。傍ニ寮ヲ設ク。二間半四方ナリ。

寺院

長圓寺 小名馬場ニアリ。禪宗曹洞派。江戸三田

海禪寺ノ末。龍澤山ト号ス。客殿八間ニ九間半。南

向ナリ。本尊釋迦。木ノ坐像。長一尺九寸許。開山花

山秀吞。天正十九年三月十九日。寂ス。門ニ間四方。

高十石ノ 御朱印ヲ賜ハレリ。

衆寮 二間ニ六間。門ヲ入テ左ノ方ニアリ。

寶庫 二間ニ三間。門ヲ入テ右ノ方ニアリ。

鐘樓 コレモ左ノ方ニアリ。二間四方。鐘ハ享保

十二年。十二世ノ僧吳山代ニ鑄シモノニテ。ワ
タリニ尺四寸。

辨天祠 當寺ノ門前ニアリ。二間四方。

真福寺 小名萩尾ニアリ。真言宗新義。醍醐三寶

院ノ末。龍華山清淨光院ト号ス。寺領二十石ノ

御朱印ヲ賜ハレリ。客殿六間ニ十二間。東向ニ立。

本尊藥師。木ノ坐像。長八寸許。開山瀧性法師。正應

三年。十一月寂ス。山門二間ニ四間。上ニ洪鐘ヲ掛。

寛永十五年。三月鑄シモノナリ。願主市野孫左衛

門尉貞繼ト刻セリ。鐘ノ徑リ二尺五寸。

八幡社 客殿ノ南ノ方ニアリ。

天満宮 東ノ方へ一丁程隔テ、アリ。上屋一間

半四方。拜殿二間ニ三間ヲ造リソヘ火

觀音堂 南ノ方ニアリ。三間四方。本尊弥陀立像

ニテ二尺二寸許。左右ニ銅ノ百觀音ヲ安ス。

寺寶

不動并兩童子画像 三軸

弘法大師筆

毗沙門ノ画像 一軸

僧覺範筆

天竺アイク王自筆像 一軸

藥師堂 除地 小名萩尾ニアリ。三間ニ三間半ノ

堂ヲ東向ニ立。藥師ハ長一尺九寸許。此本尊ハ北
條氏照ノ息女。スメノ方守本尊ト云傳フ。堂ノ後
ニ五輪ノ石塔ヲ立。延文元年八月十六日。了意禪
尼ト刺セリ。長三尺許。シカレトモ何人ノ墓碑夕
ル。トヲシラス。

徳藏院

除地一段三畝
二十八歩

小名萩尾ノ東ニアリ。真

言宗。村内真福寺末。龍華山ト号ス。客殿二間ニ四
間。南向ナリ。本尊ハ地藏。木ノ坐像。長一尺許。関山
ハ寺傳ヲ失ヒタレハ。詳ナラス。

観音堂

除地コレモ同シ邊ニアリ。四間半ニ四間。

南向ナリ。正観音ハ長一尺八寸許。古ハハ観音寺
ト云シヨシ。今中藤新田ニ移セリ。

十王堂 小名内中藤ニアリ。三間四方ノ堂ナリ。本
尊地藏ハ。長三尺五寸許ノ立像ナリ。左右ニ十王
ノ小像ヲ安ス。元ハ圓明寺ト云フ。野中新田ニ移
セリ。境内墓所ニ貞治。康永。寶徳等ノ古碑ヲ立。
大行院 修験。同郡入間郡寺竹村龍藏院ノ配下ナ
リ。

砂川村

砂川村ハ郡ノ良ニアリ。砂川ハモト武藏野内ノ小
名ナリシカ。郡中岸村ニ居住セル。村野ヲ氏トスル
百姓。助右衛門トイヘルモノコ、へ来テ開ケリ。則
砂川ハ此地ノ舊キ小名ナルヲモテ。村名トハナセ
ルヨシ。村山郷ニ属セリ。江戸日本橋ヨリ行程凡九
里。村内ニ一條ノ街道アリ。江戸へノ往来ナリ。村ノ
四境。東西ハ砂川新田ニ續キ。南ハ柴崎。大神。上河原
等ノ村ニニ境ヒ。北ハ三ツ木。奈良橋ノ二村ナリ。東

西凡一里。南北七丁許。民戸二百七十一軒。コノ邊ニ
林ハアレドモ。山林及水田ハナク。陸田ノミニテ。土
性ハ野土ナリ。村ノ開發ヲ尋ルニ。イニ岸村ニ住セ
ル助右衛門ガ家ニ傳ヘタル。寛文八年ノ記録ニ。六
十年前。武藏野砂川ト云處ヲ取立。御繩申請云云
トアリ。寛文八年ヨリ六十年前トイハ。慶長十
四年ノ頃。開ケシ所ナルヘシ。元禄二年三月。西山六
郎兵衛。池田新兵衛ウケタマハリテ檢地セリ。ソノ
外新田アリ。コノ寶曆十一年。伊奈半左衛門檢地
セリ。古ヨリ御料所ニテ。今ハ御代官大岡源右衛門
孟清支配セリ。

高札場 村ノ中程ニアリ。

水利

多磨川上水 西ノ方ヨリ入り。村内一里ハカリヲ
通シテ。赤流ハ砂川新田ニ沃ケリ。
用水 玉川上水ノ分水ナリ。西ノ方ヨリ入ル。コレ
モ砂川新田へ通セリ。

神社

阿津佐義天神社

除地一町八段三畝

往還ノ北中程ヨリ

東ニアリ。本社ハワツカナル社ニテ。三間ニ四間

ノ覆屋ヲ設ケリ。南向。拜殿ニ間ニ三間。社前ニ鳥

居ヲ建ツ。神主ハ宮崎山城ト云ヒシヨシ。今ハ其

居宅ニ居レル。留守ノモノコノ社ヲ守レリ。

末社

疱瘡神社

縮荷社

山王社

除地一段六畝廿歩

コレニ往還ノ北。上水ノ傍ニ

アリ。村内流泉寺ノ持。

辨天社

除地五畝

村ノ東ニアリ。ワツカナル祠十

リ。村持。

神明社

除地五畝十歩

小川村境。上水ノ端ニアリ。村

持。

愛宕社迹

除地一段

往還ノ北ニアリ。社廢シテ今ハ

ソノ跡ノニ遺レリ。村持ナリシト。

寺院

流泉寺

除地一町八段三畝十四歩

街道ノ南側ニテ西ヨリ

十リ。天竜山ト号ス。禪宗臨濟派。柴崎村普濟寺ノ
末。開山東林香玉。寛文五年三月廿六日。遷化。本堂
十二間ニ七間。本尊千手觀音。座像一尺餘ナルヲ
置久。惣門及鐘樓等アリ。鐘ハ新ニ鑄シモノナレ
ハ銘ハノセス。

藥師堂 本堂ノ東ニアリ。二間半ニ三間。藥師ノ
外ニ十二神ヲ置ク。イツレモ八寸許。

愛宕社 本堂ノ西ニアリ。ワツカナル祠ニテ。境

内ノ鎮守十リ。

地藏堂

除地
一段

往還ノ南側中程ニアリ。六間ニ三

間。本尊地藏。木ノ坐像一尺許。流泉寺ノ持。

茅久保村

茅久保村ハ郡ノ良ニアリ。村内鹿嶋神社ニ掛タル。
建武三年ノ鐘銘ニヨレハ。元ハ奈良橋村内ニ属セ
シ地ナルヘケレト。一村トナリシ年歴ハ詳ニセス。
今ハ奈良橋郷ニ係リ。庄名ハ唱ヘラ失ヘリ。江戸日
本橋ヨリ九里半ノ行程ナリ。名義ハ鹿嶋社ノ西方
ニ古井ノ跡ノコレリ。コノ邊ハイカニモ井ヲ鑿ツ
テ。ナシカタキヨシ。旧クハ井ノ窪或ハ井能窪共。記
セルモノ見ユ。コレヲ村名ノ起リナリシトイハ

リ。サレド井ヲウカツトヲナシカタキトキ。并能窪
記セルナト云モ。イカナルエヘナリヤ。覺東ナシ。東
ハ藏舗村ニ續キ。南ハ砂川村ニ境ヒ。西ハ中藤村ニ
ヨリ。北ハ山上ノ峯ヲ限リトシテ。入間郡勝樂寺村
ナリ。東西凡七丁。南北二十五丁。地形コノ邊ハ平ナ
レト北方ニハ山ヲウケタリ。土性畑ノ方ハ野土ニ
テ粗薄ナリ。山根ニハ真土ノ所モアリ。民戸百四十
畑。陸田多ク。水田ハ山間ニ六丁六段餘ヲ開ケリ。
御入國以來延宝二年六月。今井九右衛門近山五左
衛門元祿三年。細井九右衛門等命ヲ奉メ稅務ノ丁

ヲ檢定口リ。正保ノ頃ハ。酒井弼藏。酒井極之助知行
セシヨシ。今ハ酒井清次郎知行所ナリ。

高札場 鹿嶋神社ノ大門前ニアリ。

小名

西谷戸 西ノ方ナリ。

東谷戸 東方ヲ云。

鹿嶋谷戸 村ノ中央ナリ。

石川 北方ナリ。

山川

山 北ノ方ニアリ登リ一二下。

石川 小名石川ノ山間ヨリ出ル小流。此外ニ悪水

堀村中ヲ流ル。又溜池七ヶ所アリ。イツレモワツ

カナル池ナリ。

神社

鹿嶋神社

社地一万三千六百六十四坪 御朱印十三石。本社六尺。上屋ヲ設ク。拜殿二間ニ 五間半。幣殿二間ニ二

間半。社傳ヲ閱ルニ。慶雲四年ノ鎮坐ニテ。武甕槌

命ヲ祭神トシ。神躰ハ竜王丸トテ。則武甕槌命ノ

太刀ナリシトイヘト。神主モ拜スルヲ得サル

ヨシ。社ヲ造立アリシハ。

天智天皇第四姫宮ナリシトモ。又蘇我山田石河

麻呂ナリシトモ記シ。コノ外疑フベキヲモ記

シタレハ。此社傳モイテハ信ズベカラス。サ

ハアレ後ニノセタル。文正天文等ノ棟札アルヲ

モテ見レハ。舊キヨリノ鎮坐ナリシヲハ知ルヘ

シ。例祭ハ九月十五日。

神寶

武甕槌命。鎧ノ袖五寸許。

黄金石 五寸許。

錦几帳

東照宮御寄進ナシ給ヒシヨシ。外ニ尾州亞相

公コノ邊遊獵ノオリカラ當社ニ詣テ。自ラ書

シテ賜ヒシト云。歌ナドアリ。

鐘 大鐘ナリ銘ニ。

奉撞鐘一口

鹿島太神宮神前

建武三子年三月十二日

武州多東郡上奈良橋村

井澤三郎源光義妻白敬

案ニコ、ニ載タル鐘銘ニ。多東郡上奈良橋村ト

ルレハ。當社草創ノ頃ハコノ邊奈良橋村ノ内ニ

テ。後別ニ一村トナリシニ。其オリカラコノ社モ

今ノ如ク。コノ地ニ属セシモノナルヘシ。又井澤

三郎光義トイヘル人ハ外ニ所見ナシ。モシ此社

ノ棟札ニシルヒル。本旦那源憲光トイヘルモノ

モ井澤ノ子孫ナルニヤ。コレラノイッソノ徴トス

スヘキモノアラサレハ。今ヨリ知リカタシ。又此
鐘社頭ニカケオキシヲ。イツノ頃ニカアリケン。
棄ハレテ今ハナシ。タゞ鐘銘ノミヲツタエリ。

人王百四代後土御門御宇

奉建立鹿嶋大明神社檀一宇

文正元天丙戌十月三日

本且那 源 憲光

別當 若滿命師

大工 次郎三郎

人王百六代後奈良院御宇

奉建立鹿嶋大明神社檀一宇

天文三歳甲午土月三日

大施主下総住

工道入道

別當 梅滿命師

未社

白山祠 子ノ神祠 山王祠

本社ノ左右ニアリ。何レモ僅ナル祠ナリ。

神主石井市之進 社地ノ西方ニ住メリ。此人ノ

先祖石井出羽守ハ。コノ地頭酒井景ト氏ニ。

大坂御陣ニモ出タリナトイヘド。サセル記録

ハナシ。

石 社前ノ原上。ムハラ生ヒ茂レル中ニアリ。要

石ト称ス。具サニライハ、長サニ尺五寸許。横

四尺許。徑リ一尺五寸。黒色ニシテイト潤澤ナ

り。カ、ル田間ニアリテハ耕作ノ妨ナリト云
イツノ頃カ百姓等ヨリツトヒ。穿テステシ
セシニ。地下ニ至ルホド石ノ形ニス大ニシ
テ。タマスリ掘得ヘキニモ非レハ。是ヨリ土人
要石ト称セル名ヲ得タリト。村老ノ口碑ニノ
コレリ。紫ニコノ石タニク鹿嶋社前ニアレハ。
カ、ル話ヲ附會セシニマ覺束ナシ。

寺院

受深院

除地六畝

字前坂ニアリ。石澤山蓮花寺ト

ト号ス。真言宗新義中藤村真福寺ノ末。開山開基
ノ兼歴ヲ傳ヘス。本堂八間半ニ七間。東向。本尊不
動。木ノ立像。長一尺三寸ナルヲ安セリ。

醫王寺

除地五畝
十八歩

字石川ニアリ。白部山慶性院

ト号ス。コレモ同寺ノ末。開山兼秀。慶長六年。十一
月廿八日。寂セリ。本堂五間ニ八間。南向。本尊藥師。
木ノ立像一尺六寸。行基ノ作ヲ置リ。鐘樓ニ鐘ヲ
楯タレトシ。正徳年中ノ新鑄ナリ。コトニ考證ト
ナスヘキヲナケレハ。銘文ハトラス。

觀音堂

字林ト云所ニアリ。三間ニ三間半。觀音ハ

如意輪ニテ。長九寸。行基ノ作ナリ。

墳墓

五輪塔 字杉山ト云所ニアリ。コノ地頭酒井極之助先祖ノ墳墓ナリ。往古ハコノ所ニ居住セシヨシ。ソノ地ヲ今陣屋ト字セリ。

奈良橋村

奈良橋村ハ郡ノ良ニアリ。此邊阿豆佐美ノ里ト称シ。村山郷ニ係レリ。庄名ハ殿ヶ谷戸ナリトイヘト。コノ庄名ハ外ニ聞クナケレハ。唯コノ一村ノミ庄名ヲ冠ルト云フ。疑ヒナキニアラス。村ノ四境ハ。地形犬牙シテ慥ニハ分チカタケレド。其大略ヲイハハ。東ハ高木村ニ境ヒ。南ハ小川。砂川ノ両村ニ接シ。西ハ芋久保村ニヨリ。北ハ山峯ヲ限トシテ入間下新堀村ニ交ハリ。坤ハ藏鋪村ニツケリ。藏鋪ヲ合

シテ東西十丁。南北へ二十丁餘ノ地形平カニ。北方ニハ山ヲ環ラセリ。土性ハ野土ナレハ土輕キユハコ、モ田間ニ宇津木ヲ植テ風除トナセリ。陸田多ク。水田ハ總ニ北方山ヨリノ所ニ開キ。ソコノ清水ヲ引テ用水トナセリ。民戸五十八軒。耕作ノイトニニハ。木綿縞ヲオレル外ニ蚕ヲ以テ女子ノ業トナセリ。コノ村開闢ノ昔ハ。イツト云フヲ傳ヘサレド。郡中牟久保村鹿嶋神社ニカケタル。建武三年ノ鐘銘ニマノ村名ヲノセタレハ。此村名モ古クヨリ唱ヘシトシルヘシ。天正年中ヨリ。石川太郎右衛門カ

知行ト。外ニ武藏野新田ノ方ハ。酒井清次郎カ知行吏レリ。万治年中。御料所トナリシ頃ハ。中川八郎右衛門。今井九右衛門等支配セリ。イツノ頃カコ、ノ地頭石川某檢地セシトアリ。新田ヲハ元文元年。大岡越前守檢地セシヨシ。今ハ御料所ニテ大岡源右衛門支配所ナリ。

高札場 村ノ西ニアリ。

山川

山 北ノ方ニアリ。上リ一二丁。

水利

用水堀 村ノ南新田ノ境ヲ流レリ。外ニ恵水堀三
條。村内ヲ通セリ。

神社

山 神社 除地 三畝 南ノ畑中ニアリ。ワツカナル祠十

八幡宮 除地 六段 村ノ西北方ニアリ。上屋ニ間ニ三

間。内ニ五尺ノ社ヲ置リ。拜殿ハ三間半ニ三間。前
ニ鳥居ヲタツ。

山 王社 除地 南ノ畑中ニアリ。以上ノ社。鎮座ノ

初ハ傳ヘス。イツレモ村内ノ修驗覺寶院ノ持。

愛宕社 除地 雲性寺ノ東ニアリ。ワツカナル祠

ニテ。上屋ハ九尺四方。コ、モ鎮座ノ初ヲ傳ヘス。

村内大徳院ノ持。

日月宮 除地 六畝 ワツカナル祠ナリ。

寺院

雲性寺

除地二段 五畝

村ノ北。山麓ニアリ。天王山觀

音院ト号ス。新義真言宗。中藤村真福寺ノ末。開山

開基ノ人ヲ傳ヘス。本堂五間ニ七間。南向。本尊彌

陀。木ノ坐像。一尺六寸ヲ安ヨリ。境内ニハコノ所

ノ地頭。石川太郎右衛門代々ノ墳墓アリ。

觀音堂 門ヲ入テ右ニアリ。二間四方。觀音八十

一面。木ノ坐像。一尺二寸ナリ。

天王社 後背ノ山ノ中腹ニアリ。境内ノ鎮守ナ

リ。

大徳院

除地 二畝

修驗ナリ。府中門善坊ノ末。愛宕山

ト称ス。寛永十六年。聖護院宮ヨリ金襴ノ袈裟ヲ

玉シリモ千傳フ。

覺寶院

コレモ修驗ニテ。八幡山ト号ス。同シ支配
ナリ。

舊蹟

屋敷蹟 藏鋪村ノ境ニアリ。

藏屋鋪蹟 同シ邊ニアリ。石川某ノ住居ニシ屋鋪

蹟。及其人ノ藏居鋪蹟ナリト云。石川某ハ所ノ地

頭ナレハ。元ハコ、ニ居住アリシナルヘシ。

塚

塚 宅部境ニアリ。東覺塚ト云。何ノエエシナリヤ
詳ナラス。

舊家

百姓勤左衛門 祖先岸入道右近尉吉家。天正十五
年。六月死トノニ傳ヘリ。舊家ナルヨシライヘト
モ。又リ所ハナシ。

奈良橋村枝御

藏鋪村

藏鋪村ハ奈良橋ノ内ニ属ス。正徳年中。分村セシト
イヘト郡村名寄帳ニモエス。一村ニハ立カクシ。
故ニコ、ニ隸ス。或ハ藏式ト書リ。民家五十五軒ナ
リ。御代官ハ奈良橋村ト同ク。大岡源右衛門孟清ナ
リ。新田ノ方ハ大岡越前守開發シテ。元文元年。檢地
セリ。コノ所ハ今ニ至テ人家モナク。本田ノモノ持
添ノ地ナリ。

小名

辨天山 村内ニアリ。辨天ノ社アルニハ

ニ云。

神社

熊野社

除地

村ノ東ノ方ニアリ。祠ハ二尺四方。

上屋九尺ニ二間半。村内ノ鎮守ナリ。

辨天社

除地

字辨天山ニアリ。小祠ニ。二間四方

ノ上屋ヲ設ク。寛永六年。鎮座セシトイヘト。其詳

ナルヲ傳ヘス。

御嶽社

東ノ方ニアリ。小祠ニ。九尺ニ二間ノ覆屋

ヲ設ク。南向ナリ。

寺院

太子堂

是モ東ノ方ニアリ。堂ハ三間ニ五間。本尊

ハ秘佛ナリトテ見ルヲユルサス。

地藏堂

東ノ村境ニアリ。三間ニ五間ノ堂ナリ。南

向。コ、ニハ村民ノ墓アリ。

高木村

附 持添新田

高木村ハ郡ノ良ニアリ。郷莊ノ唱ヲ傳ヘス。東ハ後
ケ谷村。西ハ奈良橋村。南ハ小川村。北モ亦後ケ谷及
宅部ノ二村ニ續ケリ。東西凡七丁。南北二十丁。元禄
三年。細井九右衛門檢地セリ。民戸五十二烟。コ、モ
女ハ木綿縞ヲオリ。カヒコナス。近村ホ、同シ。土
性野上ニテ粗薄ナリ。水田ハ十ノ陸田ノミナリ。コ
ノ村御料私領入會ナレ。伊ツノ頃ヨリ御料所ト

ナリト云丁ハ傳ハス。寛文中ハ岡上次郎兵衛。近
山五左衛門。延宝年中。中川八郎左衛門。元禄年中。細
井九左衛門等次第ニ支配口リ。私領ハ天正年中ヨ
リ。酒井極之助同郷ニ玉ハレリ。郷三カ知行口ル
方ハ年ヲシラス。上ケ地トナレリ。今ハ大岡源右衛
門御代官所ニテ。私領酒井清次郎ノ知行吏レリ。外
ニ武藏野新田アリ。東南ハ廻リ田新田ニ境ヒ。西ハ
奈良橋新田。北ハ後ケ谷清水村等ニ限レリ。コ、ハ
民戸ナシ。元文元年。大岡越前守カ檢地ナリ。

高札場

小名字本村ニアリ。

小名

本村 中央ナリ。

砂 南方ヲ云。

水窪 中央ヨリ東方ナリ。

山川

用水堀 南境ヲ流。幅八九尺。コノ外惡水堀ニ條アリ。

神社

山神社

除地一畝

字中原ト云所ニアリ。ワツカナル

祠。村内尉殿権現ノ別當明樂寺ノ持。

尉殿権現社

除地一畝

字砂ニアリ。上屋二間ニ三間。

内ニワツカナル宮ヲ置リ。前ニ鳥居ヲタツ。

別當明樂寺

社地ノ東ニアリ。高木山ト号ス。新

義真言宗。豊島郡石神井村三寶寺ノ末。草創ノ

始ヲ傳ヘス。本堂四間四方。南向。本尊不動。木ノ

立像一尺二寸ヲ置リ。

寺院

地藏堂 字砂ニアリ。二間四方。南向。地藏ハ木ノ坐

像五寸許。

阿弥陀堂 同之邊ニアリ。二間半ニ三間。本尊八寸

許坐像ナリ。

薬師堂 字ガバ峯ニアリ。二間半ニ二間。本尊五寸

許木ノ坐像。十二神ヲ左右ニ置リ。各八寸許。

小川村

小川村ハ郡ノ良ニアリ。村山郷ニ属セリ。コノ村近
キ頃ハ野方領トモ唱フレ。其實ハ前後ノ村ト同
シク山口領ニ係レリ。東ハコノ村ノ新田ニ境ヒ。南
ハ南野中。榎木戸ニ村ノ新田ニ接シ。西ハ砂川。芋窪。
高木ノ村々ニヨリ。北ハ野口村ニ至レリ。其間西方
砂川村ヨリ北方野口村ノアタリハ。野火留用水ヲ
以テカギリトセリ。東西凡一里。南ヨリ北へハ二十
丁ニアレリ。檢地ハ寛文九年。岡上次郎兵衛。近山

五左衛門ノ兩人兼リテ貢税ノ數ヲ定メリ。コノ邊
武藏野曠原ノ所ニハ四方平地ニテ。民戸二百二十
軒ハ往来ノ左右ニ連住口リ。野林多ク。水田ハ十ノ
陸田ノ三ナリ。村内古街道アリ。道幅二間許。府中ヨ
リ國分寺。戀ヶ窪等ノ數村ヲ經テコ、ニ至ル。コノ
街道ノ内ヨリ北へ折レハ。入間郡大岱及郡内久米
川村ニ至レリ。是鎌倉ヨリ陸奥へノ街道ナリシト。
コノ村開闢ノ下ヲ尋ルニ。小川九郎兵衛トイヘル
人ニテ郡内岸村ニ居リシヨシ。明暦年中。御代官今
井九右衛門支配セシナリ。武藏野ノ内字石塔ヶ窪

ト号スル所ヲ開發センコトヲウツタヘ。御ユルシヲ
得テ遂ニ其功ナリヌ。小川某開キシ地故小川新田
ト云ヒ。後又カノ小川某ノ子孫シタイニ新田ヲ
ヒラキシカハ。ソコヲ小川新田ト稱シ。始メニ開キ
シ小川新田ト云ヘルハ。直午ニ小川村ト稱セルハ
コノ下ナリ。小川某ノ事跡ハ旧家ノ條ニ出セリ。
其頃ヨリ引續キ御料所ニテ。今ハ小野田三郎右衛
門支配所トナレリ。

高札場

中程ニアリ。

小名

上 中 下 西方ヲ上ト云。東方ヲ下ト

云フ。

橋梁

橋三ヶ所 共ニ砂川村境ヲ通スル玉川上水ニ架
セリ。コレヲ小川橋ト云。其餘ニヶ所共ニ御普請
ノ橋ニテ。何レモ長サ五間モシクハ六間。幅ハ一
間許。

水利

多磨川上水 西方砂川村ヨリ入り。小川新田ニ沃
ケリ。

野火止用水 コレモ西方砂川村境ヨリ入レリ。コ
ノ堀ヲモツテ隣村ノ境トナセリ。一名伊豆殿堀
ト称スルハ。松平伊豆守信綱カ奉行シテ作りシ
故ノ名ナリ。

神社

神明社

除地一所六段六畝廿步

村内ノ鎮守ナリ。本社六尺

四方。南向。拜殿二間半ニ五間。鎮座ノ初ヲ詳ニセ

ス。神躰白幣。例祭九月十九日。神主ハ。郡内殿ヶ谷

村阿豆佐美天神ノ神主宮崎某配下。宮崎加賀ト

云ヘリ。

日吉山王社

除地一所四段一畝廿步

本社二尺四方。上屋ニ

間四方。神躰白幣。例祭六月十五日。コ、モ鎮座ノ

初ヲ傳ヘス。神主ハ。江戸糺所山王ノ神主樹下氏

ノ支配。山口大和ナリ。

寺院

小川寺

除地三畝

警王山ト号ス。臨濟宗。江戸市ヶ

谷月桂寺ノ末。開山碩林。貞享三年正月。示寂。開基

ハコノ村ノ里正小川九郎兵衛。明暦年中ノ起立

ナリシユヘニ。小川ヲモテ寺号トナセリ。客殿十

三間ニ七間。東向。本尊薬師ヲ置リ。表門ヲ入テ左

ノ方ニ鐘樓アレ。新鐘ヲ撰タレハ銘ヲノセス。

妙法寺

除地二畝

瑞雲山ト称ス。曹洞宗。郡内中

藤村長圓寺ノ末。開山僧ノ名ヲ傳ヘス。コレモ土

地ノ里正彌四郎ノ祖先。及吉野又兵衛トイヘル
ガ二人カラ合セテ草創セシトイヘリ。サレド吉
野又兵衛ノトハ外ニキクナシ。客殿八間四方。
本尊釋迦ヲ安セリ。

舊家

百姓彌四郎 今ノ名主ナリ。小川氏ニテコノ家ノ
祖先小川次郎助義。治養ノ頃戦功アリシ。ソノ子
孫九郎兵衛ハ民間ニアリテ。コノ村ヲ開キシヨシ。
コノ人元ハ北條家ノ臣ナリシガ。民間ニ下リテ

代々武邊ノ志アリシト。按ニ小川氏ハ武藏七黨
ノ内西黨ニ見エタリ。其外當國新坐郡橋戸村ノ
舊家。忠右衛門カ家ニ傳ヘタル文書ニ。小河出雲
守ノ名等見エタリ。コレラモ一族ナリマ。トニカ
ク旧記ヲ失ヒタレハ。詳ナルコトヲシラス。

後ヶ谷村

後ヶ谷村ハ宅部郷ニ属口リ。東ハ清水村ニ隣リ。南
ハ小川村。高木新田ニ限り。西ハ奈良橋村ニ境ヒ。北
ハ狭山ノ峯ヲ境トシテ。八間郡菩提木。新堀ノ二村
ニ接ス。東西ハ凡十丁。南北ハ三十丁許。地形ハ平カ
ニシテ北ノ方ニ狭山ヲ負ヒ。又中央ヨリ北ニヨリ
テハ。西ヨリサシ出タル少シノ山アリ。水田ハ北方
ノ山根ニ少シク開キタレト。ワツカニ此地ノ溪水
ヲ引テ用水トナセハ。水災ハナクマ、モスレハ旱

損ノ患アリ。陸田ハ多クシテ。村落ヲナセル平地ノ
所ニ開ケリ。コヽハ野土ナリ。藜メイハヽ土性ハ真
土多シ。民戸天正ノ頃ハ十二軒アリシカ。後稍ク増
加シテ今ハ四十五軒トナレリ。イツレモ山ニ傍テ
散住口リ。耕作ノ暇ニハ。薪ヲ伐リテ江戸へオクリ。
傍ラ養蠶ノヲラモナセリ。村内尾張殿ノ鷹場ニメ
村民其彼ヲツトメリ。檢地ハ寛文九年。岡上次郎兵
衛。近山五右衛門目トレリ。又延宝二年ハ。カノ二人
ニ今井九右衛門加リテ目トレリ。元禄三年ハ。細井
九右衛門カ奉リテ檢地ヲナセシメテアリ。天正ノ頃

ハ。逸見四郎左衛門カ知行セシヨシ。故アリテ上地
トナリ。天和三年ノ頃ヨリ御料トナレリ。御代官ノ
遷替ハ詳ナラス。今ハ小野田三郎右衛門支配セリ。

高札場 村ノ中央ニアリ。

小名

南谷戸 村ノ南ヲ云。

宅部^{ヤケベ} 北方ナリ。

内堀 西北ヲ云。

杉元 中央ナリ。

山川

狭山 村ノ北通り多磨入間両郡ノ界ニアリ。上リ大抵二三丁。箱根ヶ崎村ヨリ久米川村。及入間郡邊迄三里許。村山郷ニ属セシ村々。コノ山ノ根通リニカ、レリ。猶總説狭山ノ條ニ出セリ。

石川 村ノ北ノ方ヲ流ル。

狭山地 村ノ北ノ方字小澤ノ溜池ナリ。水田ノ南方山合ニ。三十間許ナル堤ヲ設ケテ用水ヲ備フ。

又此池ノ上ニ古池ト云アリ。コレモ潘池ノ如クナリ。モトハ一ツナリシカ水災ノトキ。地沿革シテカクノ如クナリシモノニヤ。歌ニモ詠メ名高キ所ナリ。箱根ヶ崎村合ハセ見ルヘシ。

水利

潘井五ヶ所。

神社

稲荷社

見捨地方
八間

ワツカナル祠ナリ。

山神社 除地五段 南畑中ニアリ。ワツカナル祠

ナリ。村内圓乘院ノ持。

神明社 字南分ト云所ニアリ。コレモワツカナル

祠ナリ。傍ニヒラギノ古木アリ。圍ミ七尺許。其外

ニモ古木多ク見エタレハ古社ナルヘシ。モトヨ

リ鎮坐ノ初等ハ失エリ。

天狗社 コレモ同シ邊ニアリ。ワツカナル祠ニテ。

上屋ハ六尺四方。前ニ鳥居ヲ立リ。コレモ鎮坐ノ

初ヲ傳ヘス。

御領明神社 除地六畝 小名内堀ニアリ。コノ邊

ヲ宮ノ下山根ト云。二間ニ三間ノ上屋ヲ造リ。内
ニワツカナル宮ヲ置リ。

末社

愛宕 ワツカナル祠ニテ。後ノ方ニアリ。

寺院

圓乘院 除地七畝 是モ字南分ト云フ所ニアリ。
二十六步

新義真言宗。豊嶋郡石神井村三寶寺末ナリ。愛宕

山東圓坊醫王寺ト号ス。關山ハ賢譽法印ト云。平

治元年二月八日。寂セリ。本堂七間ニ六間半。南向。

本尊不動。木ノ坐像二尺五寸許。又藥師ノ像八寸許ナルヲ安ス。惠心ノ作ナル由ヲイヘト。秘シテ見ルヲ許サス。

鐘樓 本堂ノ正面ニ建ツ。二間ニ三間。鐘ハ圓徑二尺二寸。コソカ子寛延二年十月。住持兼譽ノ代ニ鑄成シタレハ銘文ハノセス。

愛宕祠 境内ノ鎮守ニテ本堂ノ後ニアリ。小祠。下田七畝廿六歩ヲ除地トナセリ。

寶珠庵 字杉本ニアリ。里正勘右衛門代々ノ墳墓アリ。其守リニ造立セル庵ナルヨシ。庵ハ二間

半ニ四間半。本尊地藏ヲ安ス。立像木ニテ五尺許。古ノ作ナリト云。

觀音堂 字南分ニアリ。二間半ニ五間。南向。如意輪ノ坐像。木ニテ作レリ。丈八寸許。

古碑一基
長二尺餘。貞治七戊申四月十九日トアリ。

舊蹟

陣屋跡 字杉本ニアリ。古へ逸見。四郎左衛門住居セシ所ナリシヨシ。今ハ百姓九右衛門カ住居ト

ナレリ。

藏屋鋪跡 コレモ字杉本ニアリ。陣屋跡ノモヨリ
ニアレト。逸見果ノ藏屋鋪ト云ニモ非ス。コノ
名主勘左衛門ハ回家ニテ。其地ニツ、キタレハ。
往古其家ノ藏屋鋪アリシ跡ナルヘシト云ヘト
定カナラス。此所ニ杉ノ大木アリテ。藏王ノ小祠
ヲ建ツ。

舊家

百姓勘左衛門

モトハ氏ヲ石井トイヒシカ。イツ

ノ頃ヨリカ改メテ杉本ト称セリ。遠祖ハ春日丸
ト云。ソノ廿五代ノ孫ヲ石井勘ケ由トイヘリ。コ
ノ人大坂御陣ノ時。地頭逸見四郎左衛門ト共ニ
其役ニ出。ソレヨリ今ニ至テ三十六代此地ニ住
シ。代々名主ヲツトメタリ。回家ニテ家系モ藏シ
タレト秘メ見スルヲ許サス。外ニ器物等モア
リ左ニス。

杖刀

一

長三尺九寸三分。無銘。ハ、キニ丸ノ中ニ井
字ノ紋アリ。形左ノ如シ。

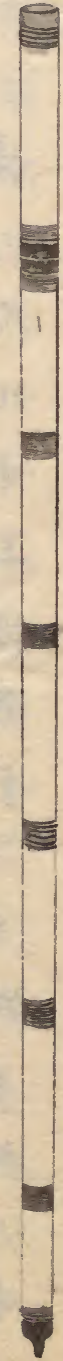


廻リ四尺七寸



廻リ三尺一寸五分

行基焼壺 三ツ。イツレモ素焼ニテ圓キ形ナ
リ。圖左ニノス。



轆

古躰ニテ細ク銘アレド定カニハ見エス。タ
タ河内國トミユ。下ニ次ノ字アリ。

廻リニ尺六寸二分

